

データ保証について

本製品を使用して、作成し、保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作あるいは他の理由によって破壊された場合には、当社は理由の如何にかかわらず保証いたしかねます。必要なデータはあらかじめバックアップされることをお奨めいたします。

安全上のご注意



警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大ケガなど人身事故の原因になります。

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意事項に従ってください。

本製品の分解、改造、修理をご自分で行わないでください。
火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。

本製品やパソコン本体に、水などの液体や金属、たばこの煙などの異物を入れないでください。

そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

ビニール袋や小さな部品は、小さなお子様の手の届かないところに保管してください。

誤って口に入れたり、頭からかぶるなど思わぬ事故の恐れがあります。

ケーブル類や電源プラグは、傷付けたり破損しないように注意してください。ケーブル類を踏みつけたり、上に物を載せないでください。
傷んだ状態で使用すると、感電や火災の原因となります。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
感電の原因となります。

水を使う場所や湿気の多いところで、本製品やパソコン本体を使用しないでください。本製品に水などをこぼさないでください。
火災やショート、感電、故障の原因になります。

本製品やパソコン本体に、水などの液体や異物が入った時は、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあとご購入店などにご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

風通しの悪いところに設置する、布を掛ける、じゅうたんや布団の上に置くなど、通気口をふさいだ状態で使用しないでください。
通気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

本製品やパソコン本体から煙が出たり異臭がした時は、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。



注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりケガをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。



本製品の接続、取り外しの際は、本マニュアルの指示に従ってください。強引な着脱は、機器の故障や、火災、感電の恐れがあります。



本製品の使用中にデータが消失もしくは破壊された場合、理由の如何に関わらず、データの保証は一切いたしかねます。
必要なデータはバックアップするようにしてください。



本製品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
機器の故障やデータ損傷の原因となります。



本製品やパソコン本体を次のようなところで使用、保管をしないでください。

- ・不安定な場所
- ・振動のある場所
- ・高温 / 多湿な場所
- ・強い磁気の発生する場所
- ・暖房器具の近く
- ・腐食性ガス雰囲気中
- ・ホコリの多い場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・衝撃のある場所
- ・傾斜面
- ・たばこの煙
- ・静電気の影響を受けやすい場所



本製品の稼働中に電源コードや、接続ケーブルなどを抜かないでください。
機器の故障やデータ損傷の原因となります。



本製品を移動する時は、ACアダプタから取り外してください。
機器の故障やデータ損傷の原因となります。



本製品内部を結露させたまま使わないでください。
本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、内部が結露する場合があります。そのまま使うと誤動作や故障の原因となります。再度使用する場合は、時間を置いて結露がなくなってからご使用ください。



本製品を廃棄もしくは譲渡する際は、以下の内容にご注意ください。
ハードディスクのデータは削除やフォーマットを行っただけでは完全に消去されたことにはならず、特殊なソフトウェアなどを利用することにより、データを復元、再利用される可能性があります。
情報漏洩等のトラブルを回避するためにデータ消去ソフトやサービスをご利用いただくことをお勧めいたします。

故障かな？と思ったら

もし、トラブルが解消しなかった場合は、製品を購入された販売店、もしくは弊社までご相談ください。

弊社では、「カスタマサポート」の専用回線を設置しております。お問い合わせは、下記あてにお願いします。

また、弊社 Web サイトでは、製品情報、製品に関するトラブルシューティング、ドライバソフトおよびソフトウェアのアップデートサービスなど、最新のサポート情報を公開しています。お問い合わせの前にご確認ください。

ヤノ販売株式会社 カスタマサポート

住所：〒653-0836 神戸市長田区神楽町2-3-2 東洋ビル東棟 2F
Tel. (078) 646-7305 Fax. (078) 646-8983
電話による受付時間：月曜日から金曜日まで（祝祭日、特定休業日は除く）
午前 9：30 ～ 12：00 / 午後 1：00 ～ 5：00

Web : www.yano-sl.co.jp

E-mail : info@yano-sl.co.jp

ヤノ販売株式会社

〒653-0836 神戸市長田区神楽町2-3-2 東洋ビル東棟2F Tel. 078-646-7303(営業) Fax. 078-646-8982
E-mail: info@yano-sl.co.jp Web: www.yano-sl.co.jp



Trusty RAID EX はじめにお読みください

このたびは、弊社製大容量高速 PCI Express RAID 装置 **Trusty RAID EX** シリーズ（タワーモデル）をお買い上げいただきありがとうございます。

本製品を安心してご使用いただくために、以下の解説に従って正しい接続を行ってください。

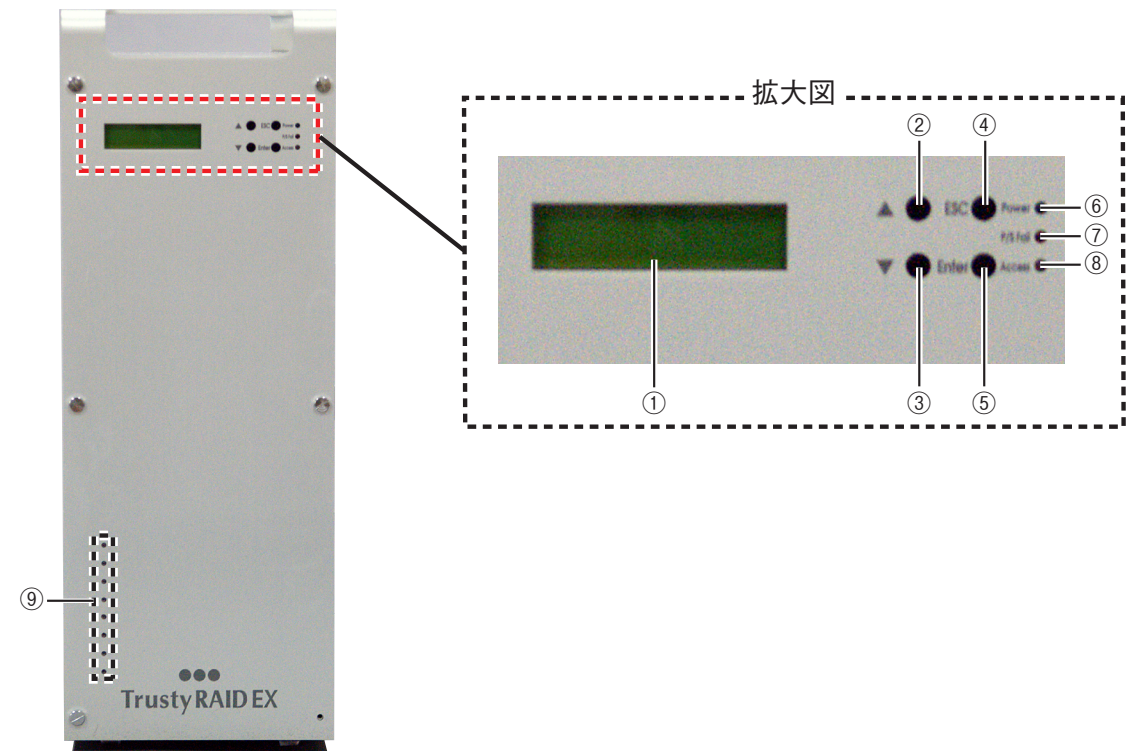
構成 品 パッケージ内容

- ☐ Trusty RAID EX 本体..... 1 台
- ☐ ドライブホルダー（スベアドライブ含む）.... 9 台
- ☐ 電源ケーブル..... 1 本
- ☐ PCI Express 専用接続ケーブル..... 1 本
- ☐ PCI Express インターフェースボード..... 1 枚
- ☐ ユーティリティ CD..... 1 枚

- ☐ Trusty RAID EX ユーザーズマニュアル 1 冊
- ☐ Trusty RAID EX ・はじめにお読みください..... 1 部
- ☐ スペックシート 1 部
- ☐ 保証書..... 1 部
- ☐ ユーザ登録カード..... 1 部
- ☐ 365 日サポートシール..... 1 部

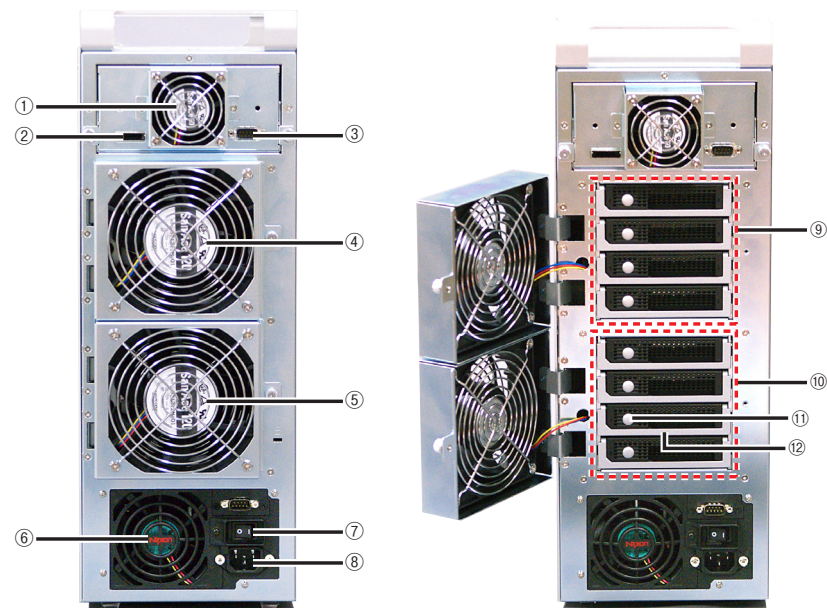
各部の名称とはたらき

● 前面



①	液晶パネル	本製品の状態を表示します。
②	▲ ボタン（上向き）	操作パネルで本製品の設定を行う場合は、▲ボタン／▼ボタンで設定項目を選択します。
③	▼ ボタン（下向き）	
④	ESC ボタン	前のメニューに戻るときにこのボタンを押します。
⑤	Enter ボタン	選択した値を確定するときこのボタンを押します。
⑥	電源ランプ	本製品に電源が投入されると緑色に点灯します。
⑦	電源異常警告ランプ	本製品の電源に異常が発生したときに赤色に点灯します。
⑧	アクセスランプ	本製品にアクセスしているときに橙色に点灯します。
⑨	ハードディスク 前面ランプ（緑 / 赤）	上から順に 1-8 番のドライブホルダーのハードディスクの動作状況を示します。 ・緑色：ハードディスクに通電中 ・赤色：ハードディスクが入っていません。

● 背面



①	コントローラファン	CPUを冷却するためのファンが取り付けられています。この部分をふさがないように注意してください。
②	PCI Express ポート	本製品に付属の PCI Express 専用接続ケーブルを接続します。
③	RS-232 ポート	弊社が使用するメンテナンス用のポートです。
④	背面ドア（上）	冷却用のファンが取り付けられています。この部分をふさがないように注意してください。
⑤	背面ドア（下）	④背面ドア（上）開閉部に、1-4 番スロットのドライブホルダーが装着されています。 ⑤背面ドア（下）開閉部に、5-8 番スロットのドライブホルダーが装着されています。 ドライブホルダーの脱着の際には、ネジを緩めて開閉します。
⑥	電源ユニット	電力を供給します。通電中は緑色に点灯します。
⑦	電源スイッチ	本製品の電源を ON / OFF します。[－] 側に倒すと ON に、[○] 側に倒すと OFF になります。
⑧	電源コネクタ	本製品に付属の電源ケーブルを接続します。
⑨	ドライブホルダー 1-4	背面ドア（上）開閉部に、1-4 番スロットのドライブホルダーが、背面ドア（下）開閉部に、5-8 番スロットのドライブホルダーが装着されています。内部にハードディスクが取り付けられています。前面には通気口がありますので、ふさがないようにしてください。
⑩	ドライブホルダー 5-8	
⑪	ドライブ前面ボタン	ドライブホルダーの脱着の際に使用します。
⑫	取手	

ドライブホルダーを装着する

本製品では、精密機械であるハードディスク・ドライブの損傷の可能性を低減するために、輸送時の衝撃等を考慮して別梱包にしております。ご使用になる際は、**必ず電源を切った状態で**、ハードディスク・ドライブの装着されたドライブホルダーを取付けてください。

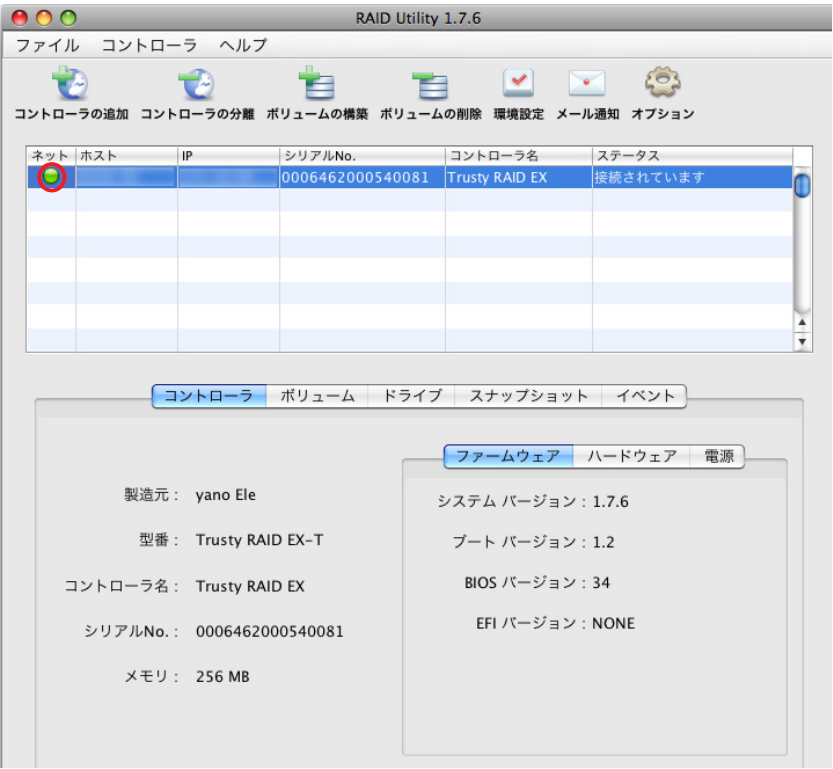
Trusty RAID EX 本体とドライブホルダーを梱包箱より取り出し、まず外観に破損などがいないか確認してください。また、破損が確認された場合は、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。

ドライブホルダーの取り付けについては、付属の「Trusty RAID EX ユーザーズマニュアル」の P22「タワーモデルの設置」をご覧ください。

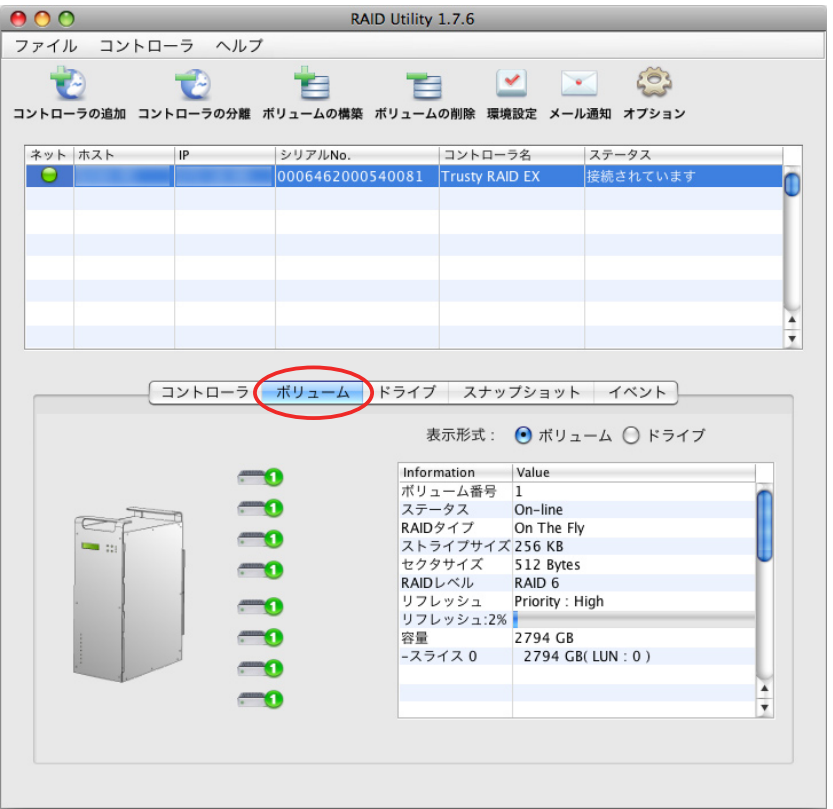
● ドライブホルダーを本体に装着する際の注意

- ・ 本製品は「ホコリがハードディスクのコネクター部へ付着し、電氣的に不安定な状態になることを防ぐ」「空気の流れをスムーズにして、より効果的にハードディスクドライブを冷却する」等のため、ドライブホルダーの交換を背面側から行う構造にしています。
本製品の設置においては、稼働中にドライブホルダーを交換する場合を想定し、背面側に十分なスペースを確保できる場所に設置してください。
- ・ 電源を投入した状態で本体を移動させると、稼働中のハードディスクドライブに障害を引き起こす可能性があります。稼働前に、ドライブホルダーの交換が可能か確認した上で、設置場所を決定してください。
- ・ 取扱いの際は、衝撃を避けて移動や取り付けをしてください。
- ・ ドライブホルダーを重ねたり、ハードディスク本体の上面を押さえる等はしないでください。

4. コントローラが正常に追加されると、コントローラ一覧に表示され、[ネット] に緑色のランプが付きます。



5. [ボリューム] をクリックします。
ボリュームの状態が正常に表示されていることを確認します。



以上でコントローラの設定は完了です。
Macintosh の場合、デスクトップ画面にアイコンが表示されます。

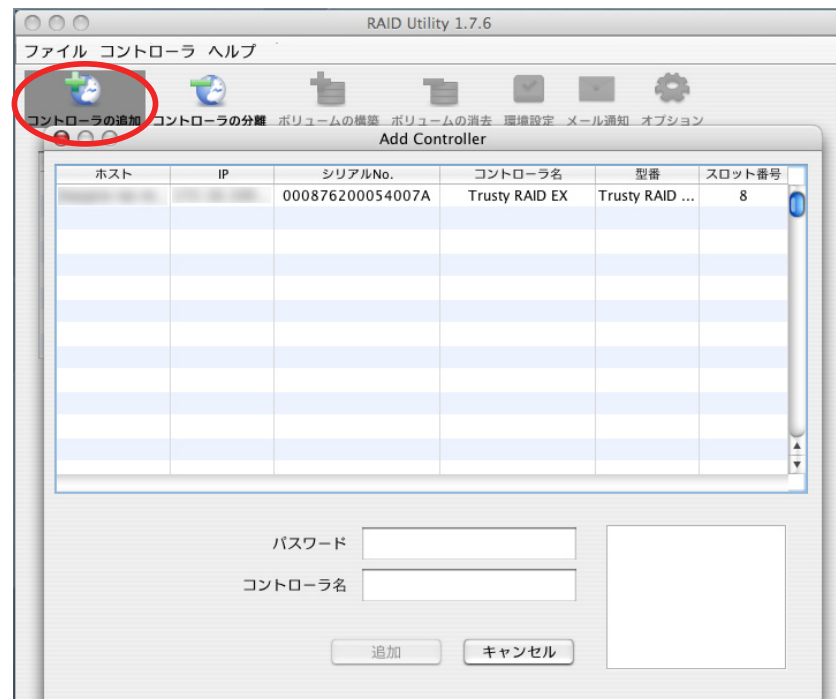


1. 「RAID Utility」を起動します。(Windows の場合は「RAID Utility Client」を起動します。)

※ Windows Vista でご使用の場合は先に「RAID Utility Server」を起動する必要があります。

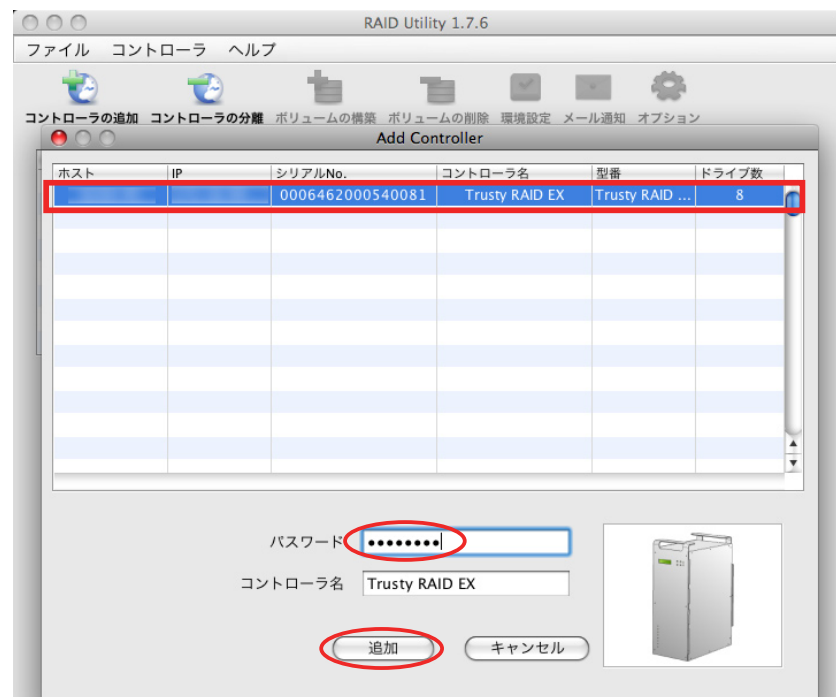
2. 「コントローラの追加」ボタンをクリックします。

ネットワークに接続されている利用可能なコントローラのリストが表示されます。



3. 管理するコントローラを選択し、パスワードを入力します。入力できたら【追加】をクリックします。

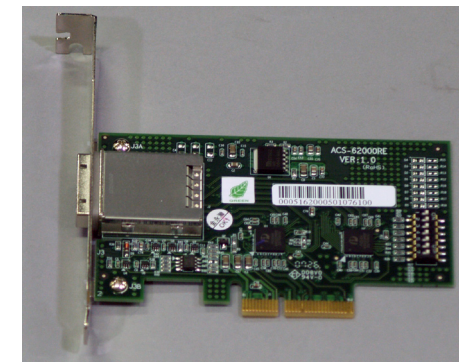
パスワードの初期設定は「00000000」（数字の0が8個）です。



操作手順

1. 本製品を接続するコンピュータに PCI Express インターフェースボードを取り付けます。

取り付け方法についてはお使いのコンピュータのマニュアルをご覧ください。



2. 本製品に必要なドライバと、RAID ソフト「RAID Utility」をインストールします。
本製品に添付されている「ユーティリティ CD」をコンピュータ本体の CD-ROM ドライブにセットします。

Macintosh の場合

「For_Mac」→「Driver」の中の
「yano_IP_MAC_X.X.X.mpkg」をクリックします。

※ X.X.X にはソフトウェアのバージョンが入ります。



「yano Software のインストール」の画面が表示されます。
【続ける】をクリックします。

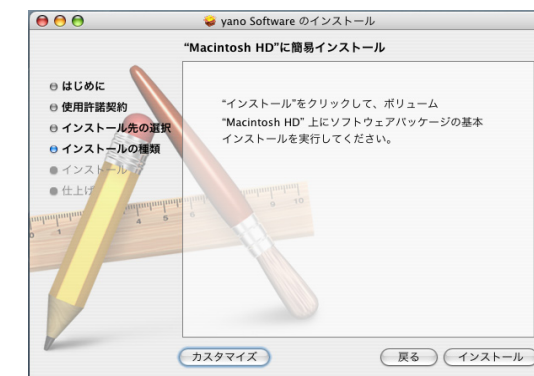
使用許諾契約の画面が表示されます。内容を確認のうえ、【続ける】をクリックします。

確認の画面が表示されますので、【同意します】をクリックします。

インストール先のボリュームを選択し、【続ける】をクリックします。

インストールを実行します。【インストール】をクリックします。
カスタムインストールを行うときは、カスタマイズをクリックし、インストールしたい項目を選択します。

インストールが終了すると、再起動を促すメッセージが表示されます。
【再起動】をクリックし、ソフトウェアのインストールを完了します。



※インストールに失敗した場合は、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。

Windows の場合

Java ソフトウェアをインストールします。

<http://www.java.com/ja/> から最新の java ソフトウェアをダウンロードしてインストールします。

※「RAID Utility」は、Java Version.1.5.09 以上が動作する環境が必要です。

本製品に添付されている「ユーティリティ CD」をコンピュータ本体の CD-ROM ドライブにセットします。

「For_Win」→「Driver」→の中から、お使いのコンピュータの CPU に合わせて選択します。

32 ビットの場合「x32」、64 ビットの場合「x64」を選択します。

お使いのシステム環境に合わせて「Vista」または「XP,2003」をクリックします。

ドライバをインストールします。「Trusty_win_X.X.X」をクリックし、インストーラを開始します。

※ X.X.X にはソフトウェアのバージョンが入ります。

インストーラの画面が表示されます。【次へ＞】をクリックします。

使用許諾契約の画面が表示されます。内容を確認のうえ、【使用許諾契約の条項に同意します】を選択し、【次へ＞】をクリックします。

インストールの準備ができた画面が表示されますので、【インストール】をクリックします。

※ Windows Vista などでお使いの場合、『ユーザアカウント制御』が表示される場合があります。「許可」を選択し、インストールを続けてください。

Attach your Device という画面が表示されます。

【OK】をクリックします。

インストールが正常に完了した画面が表示されます。

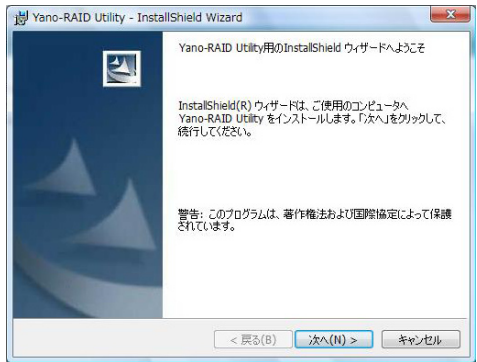
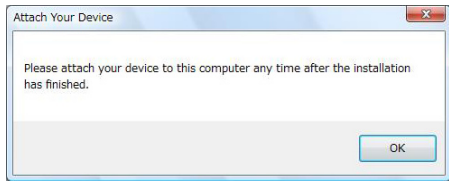
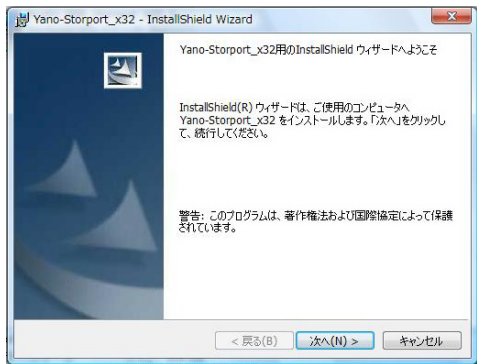
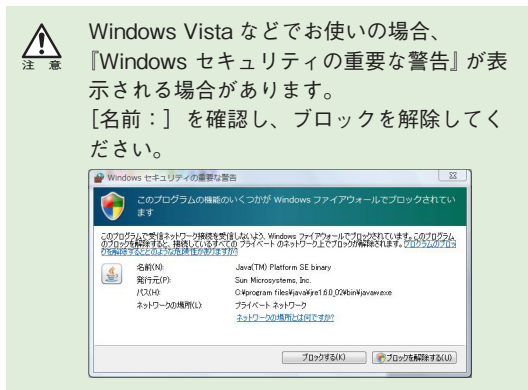
【完了】をクリックします。

RAID ソフト『RAID Utility』をインストールします。

「ユーティリティ CD」の「For_Win」→「Driver」の中から「Trusty RAID EX_IP_Win_X.X.X」をクリックし、インストーラを開始します。

Yano-RAID Utility のインストーラの画面が表示されます。

【次へ＞】をクリックします。



ここでは、Windows Vista を例に表示しています。それぞれの OS によって画面表示が異なります。

使用許諾契約の画面が表示されます。

内容を確認のうえ、【使用許諾契約の条項に同意します】を選択し、【次へ＞】をクリックします。

インストール形式の選択画面が表示されます。【すべて】を選択し、【次へ＞】をクリックします。

インストールの準備ができた画面が表示されますので、【インストール】をクリックします。

※ Windows Vista などでお使いの場合、『ユーザアカウント制御』が表示される場合があります。「許可」を選択し、インストールを続けてください。

インストールが終了したら、コンピュータを再起動します。

3. コンピュータを一旦終了します。

4. 本製品に電源ケーブルを接続します。(電源ケーブルは必ず二本とも接続してください)

5. PCI Express 専用接続ケーブルを本製品とコンピュータに接続します。

6. 本製品の電源を ON にし、コンピュータを起動します。

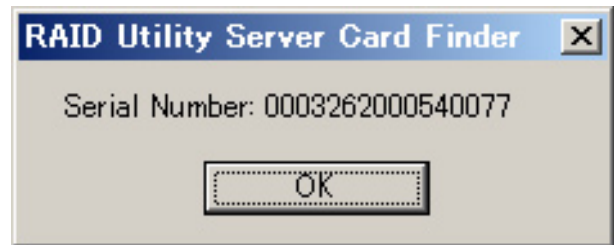
本製品を設定する

Macintosh で本製品を設定する

「RAID Utility Server」は起動時から自動的に常駐プログラムとして稼働します。

Windows で本製品を設定する

Windows でご使用の場合、ログオン後に「RAID Utility Server」が利用可能な RAID カードを探します。RAID カードが正常に認識されると下図のようなメッセージを表示します。【OK】をクリックします。



※ RAID カードが検出できない場合、「Find No Raid Card!!!」というメッセージが表示されます。本製品とコンピュータを PCI Express 専用接続ケーブルで接続している場合は、コンピュータの電源を切ってから、本製品の電源を切って、最初から作業をやり直してください。

※ PCI Express インターフェイスボードが正常に取り付けられているかどうか、PCI Express インターフェイスボードのドライバが正常にインストールされているかどうか確認してください。

※ ネットワークを経由してリモートで接続している場合は、Windows のタスクトレイから「RAID Utility Server」を終了させて、「RAID Utility Client」を使用してください。

「RAID Utility Server」アイコンが Windows のタスクトレイに追加されます。

